

令和元年11月7日
京都市防災会議

警戒レベル相当情報 ～防災気象情報と警戒レベルについて～

京都地方気象台



警戒レベル相当情報～防災気象情報と警戒レベル～

「避難勧告等に関するガイドライン」改定関連

- 住民がとるべき行動を5段階に分け、情報と行動の対応を明確化。
 - 【警戒レベル3】高齢者等避難、【警戒レベル4】全員避難とし、避難のタイミングを明確化
 - 命を守る行動のために極めて有効な災害が実際に発生しているとの情報を、【警戒レベル5】災害発生として位置付ける。
- 様々な防災気象情報と警戒レベルとの関係を明確化し、住民の自発的な避難判断等を支援

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報 避難情報等	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
			洪水に関する情報		土砂災害に関する情報
			水位情報がある場合	水位情報がない場合	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るために最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1 可能な範囲で発令	氾濫発生情報	(大雨特別警報(浸水害)) ※3	(大雨特別警報(土砂災害)) ※3
警戒レベル4	・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれがある場合に極めて高い状況等となっており、緊急に避難する。	・避難勧告 ・避難指示(緊急)※2 ※2 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令	氾濫危険情報	・洪水警報の危険度分布(非常に危険)	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)※4
警戒レベル3	高齢者等は立退き避難する。 その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)
警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意情報	・洪水警報の危険度分布(注意)	・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	警報級の可能性 ※令和元年出水期から「早期注意情報」名称変更			

※3 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報【洪水】や警戒レベル5相当情報【土砂災害】として運用する。
ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※4 「極めて危険」については、現行では避難勧告(緊急)の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

注) 市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、市町村の避難勧告等の発令に資する情報が提出されたとしても発令されないことがある。

注) 土砂災害警戒判定メッシュ情報(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)、都道府県が提供する土砂災害危険度をより詳しく示した情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。



危険度分布への警戒レベル追記「避難勧告等に関するガイドライン」改定関連

▶ 気象庁ホームページや防災情報提供システムにおける危険度分布の凡例に警戒レベルを追記。



指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、
洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。

高
危険度
低

- 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
- 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
- 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
- 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
- 発表なし

洪水警報の危険度分布

高
危険度
低

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

凡例にレベルを併記する
(平成31年出水期から実施)

洪水警報の危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)が出現すると、道路冠水等により、すでに避難が困難な状況となるため、それより前の段階で、遅くとも「非常に危険」(うす紫)が出現した時点で避難を開始し、「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了することが大変重要です。



早期注意情報（警報級の可能性）への名称変更と警戒レベル追記

「避難勧告等に関するガイドライン」改定関連

- 警戒レベル導入に伴い、警報級の可能性の名称を「早期注意情報（警報級の可能性）」に変更します。電文の内容に変更はありません。
- 気象庁ホームページの名称を変更するとともに、解説部分に警戒レベルを追記します。

警報級の可能性
 ↓
早期注意情報（警報級の可能性）

平成30年12月11日

新潟県中越の早期注意情報（警報級の可能性）

中越では、15日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。

種別	警報級の可能性										
	14日		15日		16日		17日		18日		19日
夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く									
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風（暴風雪）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【高】：警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が【高】とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

【中】：【高】ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを示しています。明日までの警報級の可能性が【中】とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心地よい。

※警戒レベルとの関係
早期注意情報（警報級の可能性） * * * * 【警戒レベル1】

* 大雨に関して、明日までの期間に【高】又は【中】が予想されている場合。

解説を加えます

※各情報を参考にとるべき行動について

情報	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るために最善の行動をとつてください。	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報	地元の自治体が避難勧告を発令する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていても危険度分布等を参考に自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル4相当
大雨警報 洪水警報 高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの）	地元の自治体が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布等を参考に高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル3相当
大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報（警報に切り替える可能性に言及されていないもの）	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。ハザードマップ等により避難先や避難経路を確認してください。	警戒レベル2
早期注意情報（警報級の可能性） *	災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1です。最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。	警戒レベル1

* 大雨に関して、明日までの期間に【高】又は【中】が予想されている場合。

※警戒レベルについては内閣府ホームページをご覧ください。



土砂災害警戒情報への警戒レベル追記

「避難勧告等に関するガイドライン」改定関連

〇〇県土砂災害警戒情報 第3号

令和元年x月x日 xx時xx分
〇〇県 〇〇地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

〇〇市 〇〇市 * 〇〇市 * 〇〇市 * 〇〇市

*印は、新たな警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

<概況>

降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してかしくない非常に危険な状況です。

<とるべき措置>

避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報 [土砂災害]】。崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域にお住まいの方は、市町村から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。

<補足情報>

市町村内で危険度が高まっている区域は、〇〇県や気象庁のホームページで確認できます。

〇〇県「土砂災害に関するメッシュ情報」、気象庁「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」

土砂災害警戒情報と避難が必要なことを示す警戒レベル4相当情報との関係がよりわかりやすくなるよう、<とるべき措置>欄の説明を充実します。

【警戒文】

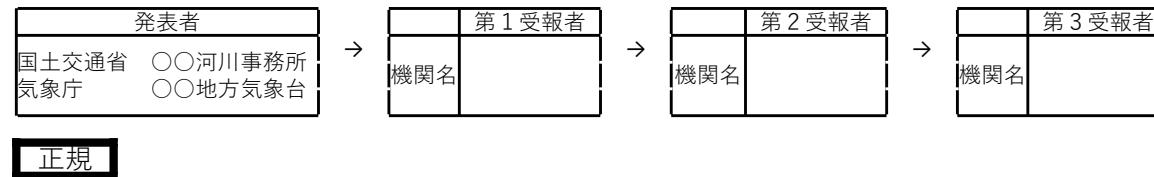
<全警戒解除>

土砂災害警戒情報を解除します。

解除では何も追記しません



指定河川洪水予報への警戒レベル追記 「避難勧告等に関するガイドライン」改定関連



○○川氾濫危険情報

○○川洪水予報第○号

洪水警報

令和元年○月○日○時○分
○○河川事務所・○○地方気象台 共同発表

見出しの冒頭に
追加します

(見出し)

【警戒レベル4相当情報「洪水】】○○川では、氾濫危険水位(レベル4)に到達し、氾濫のおそれあり

1文に記載するレベルは
1つにします

主文冒頭にも
追加します

(主文)

【警戒レベル3相当】○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、○○日○○時頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位(レベル4)」に到達する見込みです。○○市、○○市、○○町では、○○川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

レベル下降時は
その旨を追記します

【警戒レベル4相当】○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、○○日○○時○○分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位(レベル4)」に到達しました。○○市、○○市、○○町では、○○川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

レベル2を下回る時
(全解除)は
何も追加しません

【警戒レベル2相当に引下げ】○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、○○日○○時○○分頃に、避難準備・高齢者等避難開始等の発令の目安となる「避難判断水位(レベル3)」を下回り。

今後、水位は下降する見込みですが、引き続き、洪水に関する情報に注意して下さい。

○○川の○○水位観測所(○○市○○)では、○○日○○時○○分頃に、「氾濫注意水位(レベル2)」を下回りました。